

---

# ディブレイク

烏龍茶

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

デイブレイク

### 【著者名】

鳥龍茶

ZZード

ZZ7785ZZ

### 【あらすじ】

原案 <http://www.nicovideo.jp/wa>

tech/sm12003668

勝手にすみませんorz

元案 <http://www.nicovideo.jp/watch/sm12003668>

バイトの帰りの途中、突然雨が降り出した。

(そういうや、控室に傘一本置いてたよな?)

・・・ いまから取りに戻るのもアリか、、、。

思い立つも、しかし、直サマ思い出す。

(イヤたしか、無くなつてたぞ。)

「・・・まつたく、誰が持つていきやがつたのか、、、。」

結局、ポツポツと降る雨に打たれながら、アパートまでの数百メートルの帰路を歩いた。

『ガチャつ。』、ドアを開けて、  
キー、

『バタンつ。』、閉める。

たつ、たつ、たつ、

『パチツ。』、電気を付けて、

ドサツ。と、買い物袋を玄関先に置き、

「はあー。」、溜息をつく。

バサツ、と服を脱ぎ捨てて、

「ああ、つかれた、つかれた。」などと云いながら、

『ばふツ。』と、ベットに飛び込み、シーツの海に顔をうずめた。

「ふー、」と、ひとつ息をついて仰向きになつ、ベッドの上に放置していた漫画に手を伸ばす。

じめにベッドから降りた。ベッドを淹れるためベッドから降りた。

「あ、そうこうヤレポート円羅までじやん。」

「ホールをスプーンでかき混ぜながら、なんごとを思って出す。  
(まあでも、土、日曜とあるし、。。)」

座卓の上のパソコンに向かう。

なまけている。

やるべきことを部屋の隅へと追いやりて、何をするでもなく、いつして時間を潰していく。

背徳感はある、しかし、気力を起こせない。

最近は外に出ようと腰を浮かすのにも、先にため息が口から出る

いつた！ 何時から？

そんなモノローグにまた、溜息がこぼれる。  
その溜息は淹れだばかりの「ヒー」の湯気に溶けて消えた。

『元気してた?』

何だよ突然、吃驚したじゃないか。元気だよ。

『そり、よかつた。 、 、 えつと、小説はまだ書いてるの?』

いや、 いの頃はめつきりだなあ。

『そりなの? ざんねん。』

ははっ、 んだよ、 あんなもん面白くもなんともないだろ? 』

『うんん、 私は好きだつたよ。 、 、 、 君の小説。 ねえ、 、 、 』

つ。

( 、 、 、 夢か。 )

座卓に突伏していた顔を上げる。

PCの時刻表示は12:30を記していた。

窓の外はどんよりとした灰色が広がっている。

どうやら、 昨晩の雨は止むどころか強さを増したようであった。

『ズズズツ』、 冷めたコーヒーを啜る。

「 、 、 、 『元がつ。 』

“降りしきる雨の中、彼女と僕は立ち渴くしていた。

レポートを書いている。

“彼女は云う、『私は大罪を犯してしまいました、貴方の隣にはいられない。』涙を流し、彼女はそう云う。”

月曜に提出する、レポートを書いている。

“ そんな彼女に、僕は云つた、『たとえ貴女が死神なのだとしても、私は貴女と共に居たい。』 その為なら、此の手を汚すことも恐れはしない。と。

ゞゞからゞゞ見ても、、、

“雨が逆流を始める。水溜まりから雲が天へと舞い降り始める。。

レポートを、  
。

叫んだ。

『ダンツー』『だん!』

「あ、セーせん。」

お隣さん画面サイドからお叱りを受けた。

俺は何がしたいんだろう?

時刻は深夜4時を回った頃、ふと、暗い部屋のベッドで横になりながらそんなことを思った。

「もう、日曜なんだよな。」

レポートもさつき終わったし、今日はバイトもないし、 、 、 、  
・ 、 、 寝るの、もつたいなくないか?

「お?」

閉めたカーテンの合間から紅色が差し込んで来た。

「晴れたのか。」

港が傍に在るこのアパートには、海の反射を受ける綺麗な朝焼けが窓から差し込む。

よし!と、ベットから腰を浮かせ、一直線に外へ出た。

溜息は出なかつた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7785n/>

---

デイブレイク

2010年10月9日12時57分発行